

第6章 水環境



水生生物調査（境川）

第6章 水環境

1 水質汚濁の概要

水質汚濁とは、主として工場、事業場、家庭等から排出される水の中に含まれる有機物、重金属及び他の物質が河川等に流入し、水の本来の状態でなくなることを言います。

本市では、水質汚濁状況を把握するため、中小河川水質調査、洲原池水質調査等を実施し、水質汚濁の防止を図るため、河川パトロール、各種啓発活動、工場への立入調査を実施しています。

中小河川においては、10地点でpH、BOD、DO、SS、COD、全窒素、全リン、カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、全クロム、銅、亜鉛、フッ素、油分、砒素の他にも農薬、有機溶剤等を測定しています。

洲原池においては、年1回pH、DO、SS、COD、クロロフィルa、全窒素、全リン等を測定しています。

また、水生生物調査による河川の汚濁状況の把握も行っています。

水質汚濁に係る環境基準

(1) 人の健康の保護に関する環境基準（昭和46年12月28日環境庁告示第59号）

項 目	基 準 値
カドミウム	0.003 mg/l 以下
全シアン	検出されないこと
鉛	0.01 mg/l 以下
六価クロム	0.05 mg/l 以下
砒素	0.01 mg/l 以下
総水銀	0.0005 mg/l 以下
アルキル水銀	検出されないこと
PCB	検出されないこと
ジクロロメタン	0.02 mg/l 以下
四塩化炭素	0.002 mg/l 以下
1, 2-ジクロロエタン	0.004 mg/l 以下
1, 1-ジクロロエチレン	0.1 mg/l 以下
シス-1, 2-ジクロロエチレン	0.04 mg/l 以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	1 mg/l 以下
1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006 mg/l 以下
トリクロロエチレン	0.01 mg/l 以下
テトラクロロエチレン	0.01 mg/l 以下
1, 3-ジクロロプロペン	0.002 mg/l 以下
チウラム	0.006 mg/l 以下
シマジン	0.003 mg/l 以下
チオベンカルブ	0.02 mg/l 以下
ベンゼン	0.01 mg/l 以下
セレン	0.01 mg/l 以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/l 以下
ふっ素	0.8 mg/l 以下
ほう素	1 mg/l 以下
1, 4-ジオキサン	0.05 mg/l 以下

(2) 生活環境の保全に関する環境基準

(ア) 河川のBOD等に係る水質環境基準

項目 刈谷市に おける該当水域	類 型	利用目的の適応性	基 準 値				
			水 素 イ オン濃度 (pH)	生物化学 的 酸 素 要 求 量 (BOD)	浮 遊 物 質 量 (SS)	溶 存 酸 素 量 (DO)	大腸菌 群 数
—	AA	水道1級 自然環境保全及びA 以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	7.5 mg/ℓ 以上	50MPN /100mℓ 以下
—	A	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の欄 に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	7.5 mg/ℓ 以上	1000MPN /100mℓ 以下
・境川上流 { 国道1号 新境橋より上流 }	B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲 げるもの	6.5以上 8.5以下	3 mg/ℓ 以下	25 mg/ℓ 以下	5 mg/ℓ 以上	5000MPN /100mℓ 以下
・境川下流 { 国道1号 新境橋より下流 }	C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に掲 げるもの	6.5以上 8.5以下	5 mg/ℓ 以下	50 mg/ℓ 以下	5 mg/ℓ 以上	—
・逢妻川上流 { 国道155号 境大橋より上流 } ・逢妻川下流 { 国道155号 境大橋より下流 } ・猿渡川全域	D	工業用水2級 農業用水及びEの欄 に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8 mg/ℓ 以下	100 mg/ℓ 以下	2 mg/ℓ 以上	—
—	E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10 mg/ℓ 以下	ごみ等の 浮遊が認 められな いこと	2 mg/ℓ 以上	—

(注) 1 自然環境保全：自然探勝等の環境保全

2 水道1級：ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2級：沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

3 水産1級：ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び3級の水産生物用

水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級：コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

4 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの

5 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩等を含む。）において不快感を生じない限度

(イ) 水生生物の保全に係る水質環境基準

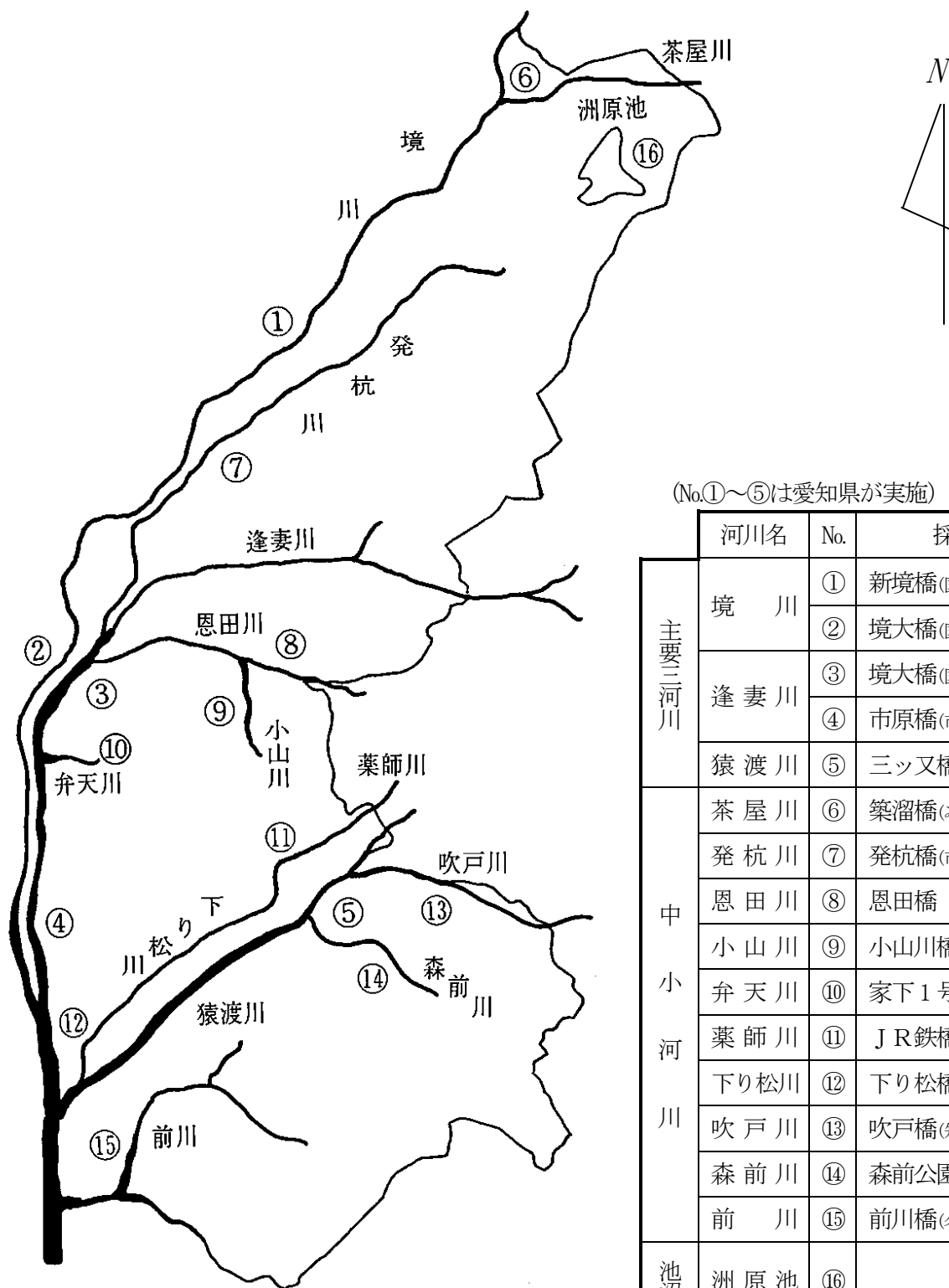
項目 刈谷市に おける該当水域	類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値※1		
			全亜鉛	ノニルフェ ノール	LAS※2
—	生物 A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/L 以下	0.001 mg/L 以下	0.03 mg/L 以下
—	生物特 A	生物 A の水域のうち、生物 A の欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/L 以下	0.0006 mg/L 以下	0.02 mg/L 以下
境川 (全域) 逢妻川 (全域) 猿渡川 (全域)	生物 B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/L 以下	0.002 mg/L 以下	0.05 mg/L 以下
—	生物特 B	生物 A 又は生物 B の水域のうち、生物 B の欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/L 以下	0.002 mg/L 以下	0.04 mg/L 以下

※1 基準値は年間平均値

※2 LAS : 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩

2 河川水質測定結果

(1) 河川水質測定地点



(2) 主要3河川の水質汚濁状況

平成27年度の測定結果における主要3河川の環境基準の達成状況は、生活環境項目のうち、河川における代表的な汚濁の指標であるBODで見ますと、全測定地点（境川（新境橋）（境大橋）、逢妻川（境大橋）（市原橋）、猿渡川（三ツ又橋））で達成しました。

健康27項目のカドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、アルキル水銀、PCB等についても、全測定地点で環境基準を達成しています。

BOD（COD）の環境基準の適合状況の評価方法

河川のBOD（生物化学的酸素要求量）や湖沼及び海域のCOD（化学的酸素要求量）の環境基準の達成状況については、環境基準点における75%水質値により評価します。

75%水質値

年間の日間平均値の全データ（n個）をその値の小さいものから順に並べた時、 $0.75 \times n$ （整数でない場合は直近上位の整数）番目にくるデータのことをいいます。

BOD（生物化学的酸素要求量）

河川等の水中の汚濁物質（有機物）が微生物によって分解され、主として無機性酸化物とガス体になる際に消費される酸素量を表します。

食品製造業、パルプ紙製造業等からの排水が高い値を示します。

COD（化学的酸素要求量）

湖沼、海域等の水中の汚濁物質（有機物）が過マンガン酸カリウム等酸化剤によって分解され、主として無機性酸化物とガス体になる際に消費される酸素量を表します。

DO（溶存酸素量）

水中に溶けている酸素の量で表します。溶存酸素量は水温、気圧、塩分などに影響され、汚濁度の高い水中では消費される酸素の量が多いので、溶存酸素量は少なくなります。水中の酸素は普通15°Cで10mg/l溶けます。

なお、魚はDOが持続して4~5mg/l以下になると、生息できないといわれています。

SS（浮遊物質）

水中に懸濁している物質のことで、ろ過して捕集し、乾燥して重量を量ります。

窯業、土石関係の工場排水が高い値を示します。

(3) 主要3河川月別測定結果

ア 境川上流

(測定地点：①新境橋)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
BOD	3.2	3.1	1.8	1.4	2.1	1.6	1.4	3.1	4.9	5.0	4.9	8.0
DO	10	8.7	8.7	8.0	9.7	7.7	8.8	9.4	9.9	11	11	10
SS	8	18	9	7	5	11	7	6	5	13	5	7

イ 境川下流

(測定地点：②境大橋)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
BOD	1.8	3.0	1.5	1.8	2.4	1.5	1.0	1.0	0.9	2.2	1.5	14
DO	9.6	8.2	7.7	7.6	6.6	7.7	7.7	7.4	9.1	10	10	12
SS	7	17	6	9	11	20	4	9	2	6	2	15

ウ 逢妻川上流

(測定地点：③境大橋)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
BOD	3.0	3.1	1.5	1.9	1.9	1.7	1.2	1.4	0.6	1.3	3.1	17
DO	9.2	7.5	6.8	6.3	4.9	6.5	6.5	6.0	6.0	7.1	8.4	13
SS	18	18	8	9	10	15	11	5	7	7	17	17

エ 逢妻川下流

(測定地点：④市原橋)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
BOD	2.4	3.6	1.3	1.3	2.3	1.3	0.7	1.4	0.9	0.7	1.4	1.5
DO	7.2	6.2	5.8	5.4	7.8	5.3	5.1	5.2	7.0	8.4	8.4	11
SS	19	21	8	8	14	25	11	8	6	7	26	9

オ 猿渡川

(測定地点：⑤三ツ又橋)

	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
BOD	1.4	2.1	1.3	1.4	1.1	2.6	1.3	0.6	1.8	0.6	3.9	1.7
DO	6.7	8.3	7.6	7.2	6.1	7.3	7.2	8.2	9.1	8.3	9.0	10
SS	6	27	10	9	7	12	5	9	3	4	16	2

※単位：mg/ℓ

(4) 主要3河川年度別測定結果 (年平均値)

ア 境川上流 (測定地点：①新境橋)

年度 項目	22	23	24	25	26	27
pH	7.3	7.3	7.2	7.3	7.3	7.3
BOD	5.7	4.3	3.1	4.6	2.5	4.9
	4.2	3.1	2.5	3.6	2.4	3.4
COD	8.0	7.1	6.7	7.3	6.6	7.2
SS	11	6	11	6	8	8
DO	9.3	9.8	9.6	9.3	9.8	9.4
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND
T-N	3.4	2.4	2.9	2.4	2.0	2.6
T-P	0.25	0.23	0.21	0.22	0.20	0.24

イ 境川下流 (測定地点：②境大橋)

年度 項目	22	23	24	25	26	27
pH	7.2	7.3	7.2	7.3	7.3	7.3
BOD	3.7	3.4	3.4	2.8	2.6	2.2
	3.6	2.7	3.4	2.4	2.1	2.7
COD	7.4	7.0	7.6	6.9	6.5	7.0
SS	16	8	18	11	8	9
DO	8.0	8.4	8.5	8.1	8.5	8.6
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND
T-N	3.5	2.5	2.1	2.5	2.2	2.7
T-P	0.26	0.22	0.24	0.23	0.20	0.22

ウ 逢妻川上流 (測定地点：③境大橋)

年度 項目	22	23	24	25	26	27
pH	7.1	7.0	7.1	7.1	7.1	7.1
BOD	3.6	3.5	3.6	3.7	2.2	3.0
	2.9	2.7	3.3	3.1	3.5	3.1
COD	6.4	6.3	7.1	7.1	6.5	6.9
SS	12	10	23	25	9	12
DO	6.8	6.6	7.0	7.1	7.8	7.4
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND
T-N	3.5	2.9	2.5	2.6	2.6	3.1
T-P	0.27	0.28	0.29	0.29	0.28	0.29

エ 逢妻川下流 (測定地点：④市原橋)

年度 項目	22	23	24	25	26	27
pH	7.3	7.3	7.2	7.2	7.3	7.3
BOD	3.6	2.1	2.2	2.0	2.0	1.5
	2.4	2.1	2.3	1.9	2.0	1.6
COD	6.0	6.6	6.1	5.8	5.7	5.5
SS	14	15	19	14	11	14
DO	6.8	6.3	6.3	5.8	7.1	6.9
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND
T-N	2.9	2.4	2.2	2.1	2.2	2.3
T-P	0.25	0.25	0.26	0.24	0.24	0.22

オ 猿渡川 (測定地点：⑤三ッ又橋)

年度 項目	22	23	24	25	26	27
pH	7.3	7.0	7.1	7.2	6.8	7.1
BOD	3.9	3.6	3.8	2.1	3.0	1.8
	3.6	2.5	3.0	2.1	2.6	1.7
COD	5.7	5.2	5.5	4.9	5.2	4.6
SS	11	10	28	15	20	9
DO	7.8	7.5	8.0	7.1	7.6	7.9
油分	ND	ND	0.5	ND	ND	ND
T-N	3.1	2.7	2.5	2.9	2.4	2.6
T-P	0.25	0.21	0.22	0.23	0.22	0.20

※NDは定量限界以下を示す。
 ※BODは 上段 75%水質値
 下段 平均値
 ※単位はpH以外mg/l

(5) 中小河川の水質汚濁状況

市内を流れる主な中小河川の水質汚濁状況をみますと、改善傾向が見られる河川もありますが、まだ汚濁度の高い河川もあり、宅地化に伴う生活排水による影響が見られます。

また、自己流量の少ない中小河川では生活排水の影響を受け易く、基本的には下水道の整備や合併処理浄化槽の普及促進などの対策が必要と思われます。また一般家庭では、食べ残し、調理くず及び使用済みの食用油を流さないこと、洗剤の適正な使用、浄化槽の適正な管理等が大切です。

本市においては、生活排水対策として水生生物調査、環境講座、リーフレット及び市民だより等による啓発活動を推進してきましたが、今後も、更に啓発活動の充実、促進に努めていきたいと考えています。



(6) 中小河川水質年度別測定結果

ア 茶 屋 川

(測定地点：⑥築溜橋)

項目	年 度								
	23 年度 平 均	24 年度 平 均	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27年6月	27年10月	27年11月	28年2月	27 年度 平 均
pH	7.0	7.2	7.2	7.1	7.3	7.3	7.0	7.6	7.3
BOD	2.5	3.4	3.7	7.2	4.6	2.2	1.7	3.4	3.0
COD	7.3	6.7	6.4	7.8	9.6	6.0	3.5	6.7	6.5
SS	15	9	16.8	17.3	19	9	6	16	13
DO	9.1	9.9	9.6	9.8	9.6	5.7	10	11	9.1
カドミウム	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	0.01	0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
亜鉛	0.04	0.06	0.07	0.02	—	0.009	—	0.021	0.015
総クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふっ素	0.14	0.18	0.05	0.09	—	0.10	—	0.09	0.10
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	3.2	3.2	3.5	2.9	2.1	2.7	3.3	3.4	2.9
全リン	0.22	0.14	0.18	0.17	0.19	0.097	0.12	0.17	0.14
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

※ 全シアンは0.1未満、油分は0.5未満については、「ND」と記載。以下同じ。

イ 発 杭 川

(測定地点：⑦発杭橋)

年 度 項 目	23 年度 平 均	24 年度 平 均	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27 年 6 月	27 年 8 月	27 年 11 月	28 年 2 月	27 年度 平 均
pH	7.0	7.3	7.1	7.1	7.1	6.9	7.2	7.0	7.1
BOD	4.4	3.2	2.4	5.5	3.8	3.5	3.3	3.5	3.5
COD	7.4	7.9	5.9	6.3	9.5	12	7.8	7.5	9.2
SS	28	12	25	19	27	62	12	9	28
DO	6.2	8.8	6.3	8.2	6.5	7.6	9.4	7.1	7.7
カ ド ミ ウ ム	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全 シ ア ン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六 価 ク ロ ム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	—	0.01	—	0.01	0.01
亜 鉛	0.03	0.02	0.05	0.03	—	0.058	—	0.045	0.052
総 ク ロ ム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	0.01	<0.01
ふ っ 素	0.17	0.20	0.13	0.12	—	0.10	—	0.10	0.10
油 分	ND	ND	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全 窒 素	3.6	4.1	3.1	3.3	2.4	2.2	4.0	6.4	3.8
全 リ ン	0.35	0.30	0.29	0.22	0.39	0.37	0.28	0.46	0.38
砒 素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四 塩 化 炭 素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1, 1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チ ウ ラ ム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シ マ ジ ン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チ オ ベ ン カ ル ブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベ ン ゼ ン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セ レ ン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

ウ 恩 田 川

(測定地点：⑧恩田橋)

年 度 項 目	23 年度 平 均	24 年度 平 均	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27 年 5 月	27 年 8 月	27 年 11 月	28 年 2 月	27 年度 平 均
pH	7.1	7.3	7.3	7.1	7.4	7.1	7.3	7.7	7.4
BOD	3.2	2.5	2.4	4.5	2.5	1.5	1.5	5.2	2.7
COD	5.1	4.9	3.8	5.1	4.3	3.6	3.9	7.1	4.7
SS	8.8	8.3	4.8	9.8	8	4	2	5	4.8
DO	8.4	9.6	9.2	9.4	9.9	9.6	10	13	10.6
カ ド ミ ウ ム	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全 シ ア ン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六 価 ク ロ ム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	0.02	<0.02
亜 鉛	0.03	0.03	0.03	0.03	—	0.014	—	0.036	0.025
総 ク ロ ム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふ っ 素	0.10	0.10	0.06	<0.09	—	0.12	—	0.09	0.11
油 分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全 窒 素	2.9	3.3	2.6	2.6	1.4	1.1	2.9	4.6	2.5
全 リ ン	0.13	0.12	0.13	0.17	0.10	0.068	0.13	0.20	0.12
砒 素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジ ク ロ ロ メ タ ン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四 塩 化 炭 素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1, 1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	0.0012	0.0009	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チ ウ ラ ム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シ マ ジ ン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チ オ ベ ン カ ル ブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベ ン ゼ ン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セ レ ン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

エ 小 山 川

(測定地点：⑨小山川橋)

年 度 項 目	23 年度 平 均	24 年度 平 均	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27年5月	27年8月	27年11月	28年2月	27 年度 平 均
pH	7.7	8.4	8.0	8.1	9.3	8.9	8.0	9.4	8.9
BOD	1.4	1.4	1.3	2.7	2.0	1.1	1.2	1.6	1.5
COD	3.2	3.0	2.8	3.2	3.2	3.4	2.6	4.0	3.3
SS	3.5	5.2	1.3	3.5	2	<1	1	<1	<1.3
DO	12.5	11.3	11.3	11.8	11	12	12	19	13.5
カドミウム	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	0.02	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
亜鉛	0.05	0.07	0.03	0.02	—	0.005	—	0.011	0.008
総クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふっ素	0.10	0.31	0.10	0.11	—	0.11	—	<0.08	<0.1
油分	ND	ND	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	1.9	2.1	1.3	1.9	0.95	0.75	2.1	2.4	1.6
全リン	0.059	0.059	0.05	0.07	0.072	0.053	0.068	0.11	0.08
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	0.032	0.005	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロパン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

才 弁 天 川

(測定地点：⑩家下1号線)

項 目	年 度								
	23 年度 平 均	24 年度 平 均	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27年5月	27年8月	27年11月	28年2月	27 年度 平 均
pH	7.1	7.4	7.3	7.4	7.3	7.1	6.9	7.3	7.2
BOD	0.8	1.9	0.8	4.6	1.0	1.1	0.8	0.6	0.9
COD	2.8	2.7	2.8	4.9	2.9	3.6	2.5	2.2	2.8
SS	3.5	5.8	9.8	17	4	9	8	3	6
DO	8.9	9.4	9.4	9.5	8.7	7.1	7.0	10	8.2
カドミウム	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	0.01	0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
亜鉛	0.01	0.01	0.02	0.03	—	0.012	—	0.015	0.01
総クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふっ素	0.10	0.13	<0.08	0.27	—	0.11	—	0.11	0.11
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	1.7	4.0	1.5	2.1	0.65	0.91	2.4	3.0	1.7
全リン	0.084	0.18	0.057	0.14	0.034	0.057	0.057	0.051	0.050
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

カ 薬 師 川

(測定地点：⑪JR鉄橋付近)

年 度 項 目	23 年度 平 均	24 年度 平 均	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27年5月	27年8月	27年11月	28年2月	27 年度 平 均
pH	7.4	7.5	7.4	7.6	7.4	7.7	7.4	7.8	7.6
BOD	3.0	2.6	2.7	5.2	<0.5	1.7	1.7	2.8	<1.7
COD	6.6	8.7	7.1	7.0	5.8	6.8	5.7	8.1	6.6
SS	4	7	3.3	3.5	4	2	3	3	3
DO	8.4	8.8	9.0	9.2	9.0	9.9	10	11	10
カドミウム	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	0.01	<0.01	0.02	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	0.02	0.02	0.02	0.02	—	0.02	—	0.04	0.03
亜鉛	0.10	0.15	0.14	0.11	—	0.14	—	0.074	0.11
総クロム	0.01	0.03	0.09	0.02	—	0.05	—	0.03	0.04
ふっ素	0.38	0.63	0.54	0.51	—	0.10	—	0.30	0.20
油分	ND	0.2	0.2	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	7.5	8.0	9.2	5.7	6.2	3.5	2.8	7.5	5.0
全リン	0.18	0.24	0.27	0.18	0.069	0.20	0.18	0.34	0.20
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.006	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	0.0013	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	0.0014	0.0014
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

キ下り松川

(測定地点：⑫下り松橋)

項目	年 度								
	23 年度 平 均	24 年度 平 均	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27年5月	27年8月	27年12月	28年2月	27 年度 平 均
pH	7.4	7.3	7.3	7.2	7.1	6.9	7.4	7.4	7.2
BOD	2.1	2.2	2.7	5.2	2.4	5.6	2.0	0.9	2.7
COD	6.2	6.2	6.2	4.9	4.7	6.7	4.5	3.8	4.9
SS	8.8	7.8	7.3	7	4	9	4	2	4.8
DO	8.7	6.6	8.1	8.1	9.8	5.6	8.5	9.8	8.4
カドミウム	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	0.02	0.01	0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
亜鉛	0.13	0.11	0.19	0.10	—	0.086	—	0.042	0.06
総クロム	0.01	0.01	0.01	0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふっ素	0.44	0.48	0.52	0.42	—	0.27	—	0.32	0.30
油分	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	7.3	6.8	7.2	5.3	5.4	4.2	4.9	3.2	4.4
全リン	0.20	0.18	0.19	0.11	0.086	0.15	0.12	0.12	0.12
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	0.0006	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

ク 吹 戸 川

(測定地点：⑬吹戸橋)

年 度 項 目	23 年度 平 均	24 年度 平 均	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27年6月	27年8月	27年11月	28年2月	27 年度 平 均
pH	7.2	7.3	7.3	7.7	7.4	7.3	7.3	7.2	7.3
BOD	7.3	3.0	2.6	5.4	1.9	1.9	2.0	7.9	3.4
COD	8.8	5.4	4.0	4.9	5.5	4.3	3.9	10	5.9
SS	18	9.5	7	7.3	7	3	3	49	15.5
DO	7.7	9.6	8.6	10	9.2	8.6	10	10	9.5
カドミウム	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
亜鉛	0.01	0.04	0.02	0.01	—	0.008	—	0.020	0.014
総クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふっ素	0.12	0.10	<0.08	<0.09	—	0.08	—	<0.08	<0.08
油分	ND	0.35	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	3.3	3.3	2.7	2.7	1.5	1.4	3.5	5.8	3.1
全リン	0.32	0.21	0.19	0.19	0.17	0.15	0.22	0.60	0.29
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

ケ 森 前 川

(測定地点：⑭森前公園付近)

年 度 項 目	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27年6月	27年8月	27年11月	28年2月	27 年度
	平 均	平 均	平 均	平 均					平 均
pH	7.1	7.1	7.2	7.3	7.3	7.1	6.8	6.9	7.0
BOD	6.0	4.0	3.3	4.2	2.6	1.7	1.5	2.2	2.0
COD	5.4	5.0	4.4	3.6	4.4	3.3	2.9	4.3	3.7
SS	18	8	9	2.8	3	2	1	1	1.8
DO	7.2	7.4	9.1	7.2	8.6	8.6	9.2	8.9	8.8
カドミウム	<0.001	<0.0003	<0.0003	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.007	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	<0.01	0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
亜鉛	0.01	0.01	0.02	0.03	—	0.01	—	0.023	0.017
総クロム	0.01	<0.01	0.01	<0.01	—	<0.01	—	0.01	<0.01
ふっ素	0.17	0.41	0.12	0.14	—	0.28	—	0.63	0.46
油分	ND	0.4	0.5	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	6.0	6.6	4.6	5.5	2.7	3.3	4.6	9.1	4.9
全リン	0.47	0.40	0.33	0.27	0.14	0.13	0.19	0.33	0.20
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	0.0082	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

コ 前 川

(測定地点：⑮前川橋)

年 度 項 目	23 年度 平 均	24 年度 平 均	25 年度 平 均	26 年度 平 均	27年6月	27年8月	27年11月	28年2月	27 年度 平 均
pH	7.3	7.2	7.2	7.2	7.0	7.0	7.1	7.1	7.1
BOD	3.1	1.4	3.5	3.7	1.5	1.9	0.9	2.1	1.6
COD	7.5	6.2	6.6	4.2	15	5.9	1.6	5.5	7.0
SS	60	49	60	21	21	19	1	29	18
DO	7.4	7.7	7.7	7.5	6.3	6.7	6.8	8.4	7.1
カドミウム	<0.001	<0.0003	0.0003	<0.0005	—	<0.0005	—	<0.0005	<0.0005
全シアン	ND	ND	ND	ND	—	ND	—	ND	ND
鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
六価クロム	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
銅	<0.01	<0.01	0.04	<0.01	—	0.01	—	<0.01	<0.01
亜鉛	0.02	0.02	0.2	0.05	—	0.012	—	0.006	0.009
総クロム	<0.01	<0.01	0.07	<0.01	—	<0.01	—	<0.01	<0.01
ふっ素	0.19	0.25	0.24	0.23	—	0.11	—	0.19	0.15
油分	ND	0.4	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
全窒素	3.4	6.1	2.2	3.0	1.6	1.5	3.3	4.7	2.8
全リン	0.49	0.35	0.35	0.21	0.18	0.16	0.16	0.30	0.20
砒素	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	—	<0.005	—	<0.005	<0.005
ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	—	—	—	<0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.01	—	—	—	<0.01	<0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	—	—	—	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.1	<0.1	<0.1	—	—	—	<0.1	<0.1
1,1,2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	—	—	—	<0.0005	<0.0005
1,3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	—	—	—	<0.0002	<0.0002
チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	—	—	—	<0.0006	<0.0006
シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	—	—	—	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002
ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	—	—	—	<0.001	<0.001
セレン	<0.002	<0.002	0.002	<0.002	—	—	—	<0.002	<0.002

3 洲原池水質測定結果

洲原池の概要

洲原池は、本市の北部丘陵地、洲原公園内に位置する本市で一番大きな池です。

- ・目的 かんがい用ため池
- ・水深 約 1.5 m (平均)
- ・広さ 160,000 m²
- ・水量 約 250,000 トン

洲原池水質測定結果

(測定地点：⑩)

測定項目		採水年月日	
		28. 2. 1	
水	温	℃	7.5
透	視	度	cm
水	素	イ	オン
濃	度		8.5
溶	存	酸	素
量		mg/ℓ	11
化	学	的	酸
素	要	求	量
		mg/ℓ	25
浮	遊	物	質
量		mg/ℓ	38
ク	ロ	ロ	フ
ィ	ル	ィ	ル
a		mg/m ³	410
全	窒	素	
		mg/ℓ	2.3
全	リ	ン	
		mg/ℓ	0.20

洲原池の水質測定経年変化（上層年平均値）

測定項目		採水年																
		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27							
測	定	回	回	4	4	4	4	4	4	4	4	2	1					
透	視	度	cm	14	21	19	16	22	19	15	14	11	6					
水	素	イ	オン	濃	度		8.0	8.6	8.9	8.3	8.1	7.8	8.6	8.3	8.0	8.5		
溶	存	酸	素	量	mg/ℓ	10.8	10.8	10.5	11.9	10.4	9.6	11.6	12.5	9.4	11			
化	学	的	酸	素	要	求	量	mg/ℓ	24	25	21	16	19	15	15	19	22	25
浮	遊	物	質	量	mg/ℓ	25	30	35	18	19	27	28	36	62	38			
ク	ロ	ロ	フ	ィ	ル	a	mg/m ³	82	97	95	81	142	88	83	141	167	410	
全	窒	素		mg/ℓ	1.8	2.4	1.3	1.6	2.7	2.0	1.7	1.9	2.6	2.3				
全	リ	ン		mg/ℓ	0.11	0.15	0.15	0.11	0.14	0.15	0.12	0.12	0.22	0.20				

4 生活排水対策としての下水道整備

水質汚濁防止の担い手として下水道にかかる期待は大きく、特に本市のように水質汚濁源として生活排水が占める割合が大きな地域にとって、下水道整備が水質汚濁の防止を図る上で最も有効な手段と考えられています。

(1) 刈谷市の下水道整備について

本市の公共下水道整備事業は、昭和 28 年度に下水道建設に着手して以来、境川流域下水道関連公共下水道として推進してまいりました。昭和 63 年度に境川浄化センター第 1 期工事が竣工し、平成元年 4 月より旧市街地の一部の地域の供用が開始され、平成 27 年度末現在の普及率は 91.6%となっています。今後も下水道整備の拡大に伴い、公共用水域の水環境は向上するものと思われま

(2) 境川流域下水道の普及状況

市町村名	処理区域面積 (h a)		処理区域人口 (人)		平成 27 年度普及率 (%)
	平成 26 年度末	平成 27 年度末	平成 26 年度末	平成 27 年度末	
刈谷市	2,192	2,202	135,136	136,701	91.6
安城市	719	724	53,060	53,538	87.9
知立市	586	599	42,688	43,749	61.6
豊田市	1,322	1,346	82,261	82,522	70.7
みよし市	876	881	45,786	46,386	76.8
豊明市	707	707	50,602	50,827	74.0
東郷町	490	490	33,442	33,713	78.6
大府市	1,287	1,287	73,833	74,755	82.9
東浦町	229	229	12,737	12,644	78.1
7市2町	8,411	8,467	529,543	534,835	

終末処理場

境川浄化センター	敷地面積	約 32.3 h a
	処理能力	367,000m ³ /日
	排除方式	分流式 (一部合流)
	処理方法	凝集材添加硝化脱窒法
	放流先	衣浦港 (環境基準 C-口)

5 水生生物による水質調査の概要

(1) 調査の目的

水生生物による水質調査は水質評価の新しい手法として全国的に広く実施されています。

水生生物とは水中に生活する生物をいいます。水中には藻類や原生動物などのプランクトン、水草、昆虫、魚類等さまざまな植物や動物が生息しています。これらの水生生物は、水質の影響を受け、水質の程度に応じた生物が生育するようになります。水生生物調査はこの現象を利用して、水中の生物の種類や数から水の汚れ具合を調べることにより、身近な水辺への触れ合いを深めると同時に、水質浄化に対する意識の高揚を図ることを目的として実施されています。

また、平成18年度より環境教育実践事業において、小学生を対象とした水生生物調査を実施しています。

(2) 調査の概要と活動内容

環境省作成の「全国水生生物調査実施要領」に基づき、水生生物を指標とした水質調査を実施しました。

なお、実践活動の参加者には、参考資料として、水生生物による水質の調査法の冊子のほか、指標生物をカラー印刷した下敷を配布しました。

ア 調査河川の概要

①境川……河川延長 39,829m、流域面積 4.8 k²

刈谷市の西部を流れる主要河川で流域には豊田市、大府市、豊明市、みよし市、東郷町等がある。

②逢妻川……河川延長 87,400m、流域面積 10.7 k²

③森前川……河川延長 2,200m、流域面積 1.8 k²

イ 調査方法

環境省の全国水生生物調査実施要領に基づく調査の手順については、次の通りです。

- (ア) 調査は3～5人を1グループとして行う。
- (イ) 調査する地点に着いたら、記録用紙に地点名、地点番号、年月日、時刻を書き込む。
- (ウ) 水のごり、流れのようす、川岸のようすなどその地点の状況を観察し、記録用紙に書き込む。
- (エ) 水の深さが30cm位でこぶしや頭くらいの大きさの石がある場所を探す。川岸の小さな石、砂のところも調べる。
- (オ) 地点が決まったら下流側に網を置きながらその場所の石のいくつかを静かに取り上げて、石にはどんな生物がついているのか、どのような動きをしているのかを見ながら、白いバケツかトレイに入れる。また、石を取り上げたあとの川底をシャベルや足でかきまぜ、流れてくる生物を網で受ける。

- (カ) 川岸に運んできた石は白いトレイか白い敷物の上に置き、よく見ながらピンセットなどを使って表面にいる生物をつかまえる。網に残った生物もピンセットでつかまえる。最後にビニールの敷物の上に残っている生物もつかまえる。
- (キ) つかまえた生物は、水を少し入れた白いトレイの中に入れて、下敷きの写真や説明とよく見比べて調べ、記録用紙に書き込む。

ウ 水質階級と指標生物の生息範囲

採取して名前が判明した生物の水質階級を調べるには、表－1と照合し、その生物が生息していた河川の水質の状態を判定します。

エ まとめ

表－2の調査結果については、逢妻川では水質階級Ⅳのとともきたない水、境川と森前川では調査ごとに水質階級の判定が異なる結果となりました。

参加者は水に親しみながら熱心に調査し、水生生物による調査結果と簡易水質試験の結果を比較するなど、河川の水質浄化に対する意識を一層高めることができました。

表－1 水質階級と指標生物の生息範囲

水質階級	番号	指 標 生 物	水質階級	番号	指 標 生 物
Ⅰ	1	カ ワ ゲ ラ 類	Ⅲ	19	ミ ズ カ マ キ リ
	2	ヒ ラ タ カ ゲ ロ ウ 類		20	ミ ズ ム シ
	3	ナ ガ レ ト ビ ケ ラ 類		21	タ ニ シ 類
	4	ヤ マ ト ビ ケ ラ 類		22	シ マ イ シ ビ ル
	5	ア ミ カ 類		23	ニ ホ ン ド ロ ソ コ エ ビ
	6	ヨ コ エ ビ 類		24	イ ソ コ ツ ブ ム シ 類
	7	ヘ ビ ト ン ボ	Ⅳ	25	ユ ス リ カ 類
	8	ブ ユ 類		26	チ ョ ウ バ エ 類
	9	サ ワ ガ ニ		27	ア メ リ カ ザ リ ガ ニ
	10	ナ ミ ウ ズ ム シ		28	エ ラ ミ ミ ズ
Ⅱ	11	コ ガ タ シ マ ト ビ ケ ラ 類	29	サ カ マ キ ガ イ	
	12	オ オ シ マ ト ビ ケ ラ			
	13	ヒ ラ タ ド ロ ム シ 類			
	14	ゲ ン ジ ボ タ ル			
	15	コ オ ニ ヤ ン マ			
	16	カ ワ ニ ナ 類			
	17	ヤ マ ト シ ジ ミ			
	18	イ シ マ キ ガ イ			

凡 例

- Ⅰ……きれいな水
 Ⅱ……ややきれいな水
 Ⅲ……きたない水
 Ⅳ……とともきたない水

表-2 調査結果

実施河川名		境川		森前川			
実施地点		新境橋付近		森前公園付近			
実施機関名		亀城小学校		双葉小学校			
実施年月日		27.6.19	27.6.30	27.6.23	27.6.24	27.6.25	
水質階級及び指標生物の出現頻度	きれいな水	1 カワゲラ類					
		2 ヒラタカゲロウ類					
		3 ナガレトビケラ類					
		4 ヤマトビケラ類					
		5 アミカ類					
		6 ヨコエビ類					
		7 ヘビトンボ					
		8 ブユ類					
		9 サワガニ					
		10 ナミウズムシ					
	ややきれいな水	11 コガタシマトビケラ類					
		12 オオシマトビケラ					
		13 ヒラタドロムシ類					
		14 ゲンジボタル					
		15 コオニヤンマ					
		16 カワニナ類					
		17 ヤマトシジミ					
		18 イシマキガイ					
	きたない水	19 ミズカマキリ					
		20 ミズムシ		●		○	
		21 タニシ類					
		22 シマイシビル		●		●	
		23 ニホンドロソコエビ					
		24 イソコツブムシ類					
	とてもきたない水	25 ユスリカ類					
		26 チョウバエ類					
		27 アメリカザリガニ	●		●	●	●
		28 エラミミズ					
		29 サカマキガイ					
水質階級の判定		IV	III	IV	III	IV	

※ ○出現した指標生物 ●多く出現した指標生物

表-2 調査結果

実施河川名		境川	逢妻川	森前川	
実施地点		新境橋付近	逢妻さくら橋 付近	森前公園付近	
実施機関名		富士松東小学校	環境講座	朝日小学校	
実施年月日		27.7.21	27.7.25	27.8.4	
水質階級及び指標生物の出現頻度	きれいな水	1 カワゲラ類			
		2 ヒラタカゲロウ類			
		3 ナガレトビケラ類			
		4 ヤマトビケラ類			
		5 アミカ類			
		6 ヨコエビ類			
		7 ヘビトンボ			
		8 ブユ類			
		9 サワガニ			
		10 ナミウズムシ			
	ややきれいな水	11 コガタシマトビケラ類			
		12 オオシマトビケラ			
		13 ヒラタドロムシ類			
		14 ゲンジボタル			
		15 コオニヤンマ			
		16 カワニナ類			
		17 ヤマトシジミ			
		18 イシマキガイ			
	きたない水	19 ミズカマキリ			
		20 ミズムシ			
		21 タニシ類			
		22 シマイシビル	●		●
		23 ニホンドロソコエビ			
		24 イソコツブムシ類			
	とてもきたない水	25 ユスリカ類			
		26 チョウバエ類			
		27 アメリカザリガニ		●	●
		28 エラミミズ			
		29 サカマキガイ			
水質階級の判定		Ⅲ	Ⅳ	Ⅲ	

※ ○出現した指標生物 ●多く出現した指標生物